千葉県高等学校ＰＴＡ連合会

ちば高Ｐ連だより

第 84 号

〒263-0011　千葉県千葉市稲毛区天台町２８５
県総合スポーツセンター宿泊研修所内
ＴＥＬ　043(255)0687　ＦＡＸ　043(255)0681
ＵＲＬ：http://www.chikoupren.jp/
E-mail：chibakoupren@nifty.com

単Ｐ活動の紹介

優良ＰＴＡ文部科学大臣表彰を受賞して

千葉県立大原高等学校ＰＴＡ会長　秋場初永

この度、優良ＰＴＡとして文部科学大臣表彰を受賞させていただいたことに、驚きと喜びをかくせません。御尽力いただいた関係各位に感謝申しあげます。また、この受賞はこれまで熱心に活動してこられた井上智和前会長をはじめとした諸先輩方、現在のＰＴＡ役員、保護者、先生方、そして地域の皆様のお陰と御礼申しあげます。

本校は平成二十七年度に大原高校、岬高校、勝浦若潮高校の三校が統合して、新生の総合学科の高校としてスタートし、六年を終えるところです。当初はＰＴＡの組織や活動も手探り状態だったと推察いたしますが、ここ数年、もっとＰＴＡ活動を盛り上げよう、活発にしようとの思いの中で「学校と家庭は教育のパートナー」という活動指針のもと、体制の整備や活動の活性化・円滑化を進めてきました。そのことが評価されての今回の受賞だと思いますので、令和元年度の活動を紹介させていただきます。

まず、ＰＴＡ組織を見直しました。会長を補佐する体制の強化を図り、規約を改正して各学年二人の副会長を置くようにしました。副会長は会長をサポートするとともに、後ほど述べる三つの委員会の担当として分担を決め、会長と委員会を結ぶパイプ役としての活動も担うようにしました。

さらに、会長・副会長・各学年代表から構成される本部役員会を定例化することにしました。年三回開催し、活動内容の把握や検討、課題などを話あっていきました。本部役員が情報を共有することでスムーズに活動を展開できるようになったと感じています。

ＰＴＡ総会の見直しも行いました。参加される保護者が少ないという課題があったため、授業公開の後に保護者研修会を入れ、続いて総会を開くことにしました。研修会は、千葉県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課より講師をお招きし、「ＳＮＳの現状と対策」という講演をしていただきました。保護者も関心を持つ内容だったので、これまでより多くの保護者に参加してもらえました。今後も授業公開・研修会・総会という流れを継続していきたいと考えています。

委員会の活動について説明します。本校では生活・研修・広報の三つの委員会を設けています。生活委員会では、六月と十一月の年二回、先生方と協力して下校・列車指導を行っています。生徒の皆さんには、ルールやマナーの大切さ、またＰＴＡや地域が見守っているんだ、という意識を感じてもらえればと思います。研修委員会では、十月に研修視察旅行を実施しました。卒業生の進路先・就職先を訪れ、具体的な話をお聞きするもので、国際トラベル専門学校と山九株式会社を見学させていただき、卒業生との懇談も行いました。参加された方から「頑張っている姿に勇気づけられた」、親として子供に何ができるか考えさせられた」などの感想をいただきました。広報委員会はＰＴＡ会報の編集会議を年二回開いています。紙面作りを進め、保護者からの学校生活の様子が分かるようにしてほしい、写真を多くしてほしい、などの御意見を参考にさせていただき、満足のゆく会報を発行することができました。

最後に、その他の活動として文化祭にＰＴＡの模擬店を出店しています。役員、理事三十名ほどで、焼きそばやおにぎり、総菜などの販売を実施しました。材料や器具などは、地元商店街の御協力を得ました。中でも一番人気だったのは、名産の地ダコを使った焼き串でした。販売で得られた利益は学校に役立てていただこうと生徒会へ寄付いたしました。

右のように令和元年度の活動を述べさせていただきましたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大でＰＴＡ活動も縮小や中止が続きました。一日でも早くコロナ禍が収束し、例年通りの学校活動やＰＴＡ活動が行えることを願っています。

第１回下校指導

研修視察旅行・山九株式会社　卒業生との懇談会

文化祭模擬店で参加

山武地区

千葉県立松尾高等学校
ＰＴＡ会長
小林　史枝

校外巡回指導報告

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で例年通りのＰＴＡ活動ができなかった学校が多いと思います。本校では例年、生徒の下校に合わせてＰＴＡ役員と先生方と合同で校外指導を実施しています。今年度もなんとか第二学期中間考査の初日に実施できましたので報告します。

終了後の報告では、下校中や電車内でも特に目立ったところはなく、夏服からの名残で靴下の短い生徒がいたようですが、概ねマナーを守っていたようです。また、ＰＴＡの役員や先生方に会うと立ち止まってきちんと挨拶する生徒もいたという報告もあり、今後も学校でこのような指導を継続してほしいという意見がありました。今回の指導とは別の日ですが、地域の方から通学用リュックが電車の出入口で迷惑になるとか、松尾高校の生徒が電車内で高齢の方を見つけてすぐに席を譲った、という電話を学校にいただくこともあるそうです。子供達を育てていくには、学校と保護者だけではなく、地域の皆さんの協力も不可欠です。これからも様々な機会を利用して、学校の先生方や地域の方と連携して活動できればと思っています。

本校における新型コロナ対策

新型コロナに負けない！あきらめない！

千葉県立千葉南高等学校　校長　富田　昌宏

令和二年度は、新型コロナに始まり、新型コロナで終わると言っても過言ではないほどの異例の年となりました。

そのような状況の中、本校は、「新型コロナに負けない！あきらめない！」の合言葉のもと、感染症予防に取り組みながら、学校が一丸となって教育活動を進取果敢にチャレンジして参りました。

新型コロナ感染症予防

臨時休校中、本校では飛沫拡散防止のため、教室に教壇と生徒の席を仕切る透明のビニール製シートを取り付け、生徒が安心して授業が受けられるよう準備をしました。

また、生徒たちは、スマホアプリ「クラッシー」を活用した毎朝の体調報告、登校時には、昇降口前水道での手洗い、昼食時は、前を向いたままで、「寂しいけど　無言でごはん」等の感染症予防対策に真摯に取り組みました。

コロナ禍での魅力ある学校づくり

体育祭は、種目の精選やルールの変更、手洗いや消毒の徹底により実施することができました。また、中止となったかんな祭（文化祭）も、フラッグコンテスト（クラス旗コンテスト）として復活させました。

部活動では、美術部が、近隣の千葉聾、仁戸名特別支援、袖ケ浦特別支援、川戸中、川戸小学校に作品を展示させていただくことで交流を行いました。また、例年、地域の敬老会等でボランティア演奏を行っている吹奏楽部は、演奏曲をＣＤ「コロナに負けない、あきらめない」に録音し、地域の方々へお届けしました。

修学旅行は、保護者対象事前説明会を経て、二年生全員参加により実施できました。旅行中も感染症予防を徹底し、生徒が主体的・協働的に高校時代の最高の思い出を創り上げました。

コロナ禍での社会貢献

二学期末には、本校を会場に献血を行い、冬場、そしてコロナ禍で不足している献血活動に学校あげて協力しました。新聞に、「続く献血控え……千葉南高『命のリレー』生徒・職員ら八十人協力」と報道されました。

コロナ禍でのＰＴＡ活動

冬場の感染症予防・リスク軽減のために、ＰＴＡから学校の全教室・特別教室等に加湿器が寄贈されました。生徒の感染症予防に有効に活用させていただいております。

また、本校ＰＴＡは千葉地区理事校として地区研修会を開催しました。感染症対策、県警「あおぼーし」の講演会、フルート演奏のクリスマス会は、どれも参加の皆様から高い評価をいただきました。

おわりに

本校の取組「新型コロナに負けない！あきらめない！」は、千葉県教育委員会の「魅力ある学校づくり大賞」において、優秀賞を受賞しました。千葉南高校は、このコロナ禍においても、感染症予防に徹底的に取り組みながら、生徒、職員、保護者、地域が一体となって教育活動を推進することができました。今後も、皆様からの支援を受けながら、千葉南高校の校風を生かした魅力ある学校づくりに取り組んで参ります。

―・―・―・―

◆お詫び◆

県高Ｐ連研究集会報告、地区研究集会報告、列車内一斉指導報告について

この度のコロナウィルス感染症拡大防止のため、各地区で各活動が中止となりました。そのため、例年の実施報告の掲載を見送らせていただきました。

高文連紹介

コロナ禍のなかでも

千葉県立四街道高等学校写真部　岡　優成

私たち千葉県立四街道高等学校写真部は、全国高等学校総合文化祭や写真甲子園などの全国規模の大会出場を目指して、部員五十名で活動しています。コロナ禍での活動となった今年度は、「コロナ禍だからこそ」の逆転の発想で、新たな取り組みに挑戦しました。

今までとは違う生活を求められた二〇二〇年、私たち三年生が集大成を発表できる場は失われました。そんな中、千葉市内の「ホテルポートプラザちば」様の「三年生には最高学年としての証と自信を残してもらいたい」という心遣いから始まった全国初の企画で、全客室九十八室に三年生十三名の作品を一枚ずつ飾っていただけることになりました。緊急事態宣言によりすべての活動が停止した春、目標にしていた全国大会が中止になった夏、三年間の活動のピリオドをうまく打てない中、ホテルの客室展示というあまりに素晴らしい企画をしていただくことができました。関係者の方々に感謝いたします。

高校写真部が目指す最高峰の大会に「写真甲子園」があります。一校三名のチームで競う団体戦です。四高写真部はこれまで三回、北海道で行われる本戦出場を果たしていますが、今回は北海道での本選大会は中止となり、ＷＥＢ開催になりました。そして今年は特別に「ソロ写真甲子園」と呼ばれる、コンテスト形式の個人戦が開催されました。「Home」というテーマを三枚の組写真で競うこの大会で、私はコロナ禍での生活を祖母を中心に撮り、全国二位である銀賞をいただくことができました。個人戦とは言え高校生活の一つの目標にしていた写真甲子園で、結果を残すことができたのは非常に嬉しかったです。

私は今年で卒業ですが、元四高写真部としてのプライドを持って、今後も写真を撮っていきたいと思います。

今を輝く高校生の声

高体連紹介

新たな歴史と伝統をめざして

千葉県立八千代高等学校柔道部　濵　岡　あかり

八千代高校柔道部は、創部五十年を超える歴史と伝統のある運動部です。現在十二名の女子部員が元気に活動しています。

近年の一番のトピックスは、吉岡光さん（三年）の活躍です。二〇一九年に行われた「全国高校柔道選手権大会」48kg級において見事に優勝し、本校柔道部初となる日本一の栄冠を手にしました。さらに十七歳以下で争われる「世界カデ柔道選手権大会」に日本代表として出場し、オール一本勝ちの内容で世代別の世界チャンピオンとなりました。現在、活躍の場をシニアの舞台に移し、パリ五輪の有力候補選手として注目されています。

吉岡さんの活躍に部員の士気も高まり着実にチーム力が向上しています。直近では、十一月に行われた千葉県新人大会で私たち一、二年生が奮起しました。団体戦において優勝、個人戦では出場した全六階級で優勝し、三月に行われる全国大会の出場権を獲得しました。今年度、相次ぐ大会中止により悔しい思いをした三年生は、夏以降も毎日練習に参加し、一緒に稽古しながら私たちをサポートしてくれています。卒業する三年生は、四名全員が大学に進学し柔道を続けます。多くの卒業生が大学でも競技を継続し、活躍されていることも本校柔道部の特徴です。

柔道は、相手と組み合い全身の力を総動員しながら攻防し合うとても激しい競技です。女子が柔道をやっているだけで驚かれることもあります。たしかに試合や練習の中で痛い思いをすることもありますが、それでも私たちは柔道の楽しさに魅了され、情熱を持ってこの競技に取り組んでいます。一瞬で決まる勝負の緊張感、大舞台での高揚感や仲間との一体感など、日常生活ではなかなか味わえない感覚です。

現在、コロナ禍で多くの我慢を強いられていますが、制約の中でも「今できること」に精一杯取り組み、何事にも柔軟に対応できるしなやかな強さを身につけていきたいです。これからも八千代高校柔道部は、新たな歴史と伝統を創るべく柔の道を突き進みます。

後援事業報告①
第24回 英語・日本語弁論大会

千葉市民会館にて令和三年一月十九日に開催予定となっておりました、国際教育研究部会主催の第二十四回日本語・英語弁論大会ですが、今年度は新型コロナウィルスの影響で会場での開催を中止とし、出場生徒のスピーチ動画を審査する方式といたしました。

今年度は様々な弁論大会が中止となり、その影響もあり、五十名近くと、例年よりも多くの応募がありました。

各部門の入賞者は、以下の通りです。

第一部門　英語による弁論

一位　田中　優希（東金高校）
「To reach the next door」
二位　三木　フジオ　ジョシュア
（市立柏高校）
「The Sad Reality of My Dream Job」
三位　小栗ティナ（翔凛高校）
「Refuge for All, Dreams for All」

第二部門　留学生による弁論

一位　柏木　茉林（市立柏高校）
「太棒了～私の前途を照らす光～」
二位　河　恩珍（翔凛高校）
「プラスチックパンデミック」
三位　王　晩晴（西武台千葉高校）
「食品ロス問題について」

第三部門　日本語による弁論

一位　湯浅　勝平（敬愛学園高校）
「0530～2030」
二位　林　夏実（東金高校）
「世界中の「違い」」
三位　関谷　瑞紀（東金高校）
「広がる文化・つながる世界」

なお、この大会の各部門は、関東甲信越静地区大会を経て全国大会へと通じるもので（ただし、第三部門のみ全国大会が開催されていないため、関東甲信越静地区大会まで）、例年各部門の表彰者のうち、全国大会出場資格を満たす者を千葉県代表として関東甲信越静地区大会に推薦しております。

また、昨年度の弁論大会を勝ち抜いた三名の、関東甲信越静地区大会での成績についても、ご報告いたします。

英語発表部門

最優秀賞　島田　栞子
（渋谷教育学園幕張高校）

日本語発表部門

優秀賞　兪　心彤（生浜高校）

国際理解研究発表会

最優秀賞　田板　桜（東金高校）

本来であれば、英語発表部門と日本語発表部門の入賞者には全国大会への参加資格が与えられますが、本年度は全国大会が中止となったため、出場者としての賞が贈られることとなりました。なお、留学生による日本語発表部門においては、四年連続の全国大会出場となりました。

今後とも、弁論大会参加生徒への応援をよろしくお願いいたします。

後援事業報告②
第14回 高校生理科研究発表会
ピンチをチャンスに！ ～オンラインによる「高校生理科研究発表会」～

千葉大学高大接続センター
特任教授　**足立欣一**

第十四回高校生理科研究発表会が千葉県教育委員会共催、千葉県高等学校ＰＴＡ連合会等々の協賛の下、十二月二十一日～二十八日にかけて開催されました。

本発表会は、例年九月下旬に大学体育館を会場にポスターセッションの形で開催されておりますが、本年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、通常開催は中止せざるを得ませんでした。

各高校での授業再開や課題研究の進捗状況等を把握しながら、高校生の皆さんの課題研究への情熱の火を絶やさないように、課題研究発表の場を確保するべく関係機関と検討・協議した結果、開催時期を遅らせてこのオンラインでの発表会を実現させました。

今回は、全国から三五九件の応募をいただき、新たに山形県・福井県からの参加校が増えたことも、オンライン発表ならはでの効果と思われます。様々な困難の中でも、熱意をもって課題研究に取り組んできた高校生の努力の成果に接することができ、感激したところであります。

日常がなかなか戻りませんが、野球でも「ピンチの後にチャンスあり」といいます。この困難な状況を打破すべく、ＩＣＴ技術をフル活用して、ポスターセッションとは違った形式での研究発表に取り組み、新たな発見ができたことと思います。

千葉大学では、数理科学コンクールやアセントプログラム等、やる気と才能にあふれる高校生を応援する取り組みを行っています。

さらに、二十年以上前から「飛び入学」を実施して、高校二年を修了した優秀な生徒の皆さんを大学生として受け入れています。これらの取り組みを、ぜひ活用してチャンスを掴んで頂きたいと思います。

千葉県高等学校ＰＴＡ連合会からは、昨年度より英語の発表による最優秀賞に対し会長賞の贈呈をいただいております。通常開催が可能となった際には、多くの会員の皆様にも会場にて高校生の熱気あふれる姿をご覧いただければ幸いです。

令和三年度 主な行事予定

- 県高Ｐ連総会　六月九日（水）
　千葉県教育会館大ホール
- 全国高Ｐ連大会定時総会
　六月二十六日（土）
　東京ガーデンパレス
- 関東地区高Ｐ連総会
　七月八日（木）　ホテル談露館
- 第六十七回
　関東地区高Ｐ連大会　山梨大会
　七月九日（金）～十日（土）
　小瀬スポーツ公園武道館　他
- 第七十回
　全国高Ｐ連大会　島根大会
　八月二十四日（火）
　～二十五日（水）
- 全国高Ｐ連
　会長事務局長連絡会
　十月二日（土）
　大阪ガーデンパレス
- 関東地区高Ｐ連
　第一回役員会委員会
　十月二十七日（水）神奈川県
- 第五十七回
　県高等学校ＰＴＡ研究集会
　十一月十六日（火）
　千葉県教育会館大ホール
- 全国高Ｐ連
　会長事務局長研修会
　二月五日（土）
　東京ガーデンパレス
- 関東地区高Ｐ連
　第二回役員会委員会
　二月中旬　神奈川県

わが校自慢

服飾デザイン科　佐倉の町を和服姿で登下校

～心を込めて製作した和服で過ごす一日～

千葉県立佐倉東高等学校　教頭　髙木文雄

本校服飾デザイン科は、二年次から和裁コースと洋裁コースに分かれ、より専門的な学習に取り組んでいます。和裁コースの三年生は、毎年十二月に「和服登校日」として、心を込めて製作した「世界にたったひとつ」の和服を着て、学校生活を送ります。当日に向けて、生地を自分で選び、着物に合わせた小物、草履等を用意し、準備をしていきます。更に、家族の理解、支えもあり、小物を揃えるときに一緒に考えてくれたりするなどして、その絆を深めることができます。城下町佐倉の街並みと調和した生徒たちの姿は凛としており、心洗われるものです。

「和服登校日」は和裁コース選択者の一つの発表の場ですが、そこに到るまでには学科全体で取り組む、三年間の集大成：『ファッションショー』があります。生徒の主体性を活かし、作品、構成、リハーサルを念入りに行い、本番を迎えます。下級生は上級生の取組を間近で見ることにより、多くを吸収し学んでいきます。「今年度は九月、十一月に限定公開でしたが、生徒が作成した様々な衣装を紹介することができました。」ファッションショーを終えて、『小さい頃の自分に、このファッションショーを見せて、「苦手なことばっかりでも、一つ得意なことがあれば、こんなに輝けるし、成長もできるよ！」と伝えてあげたいです』という、生徒の感想があります。

服飾デザイン科での学びは、知識、技能を身に付け、体験活動から思考力、判断力、表現力を養い、他者との協働作業を通じて成功（失敗も含めて）体験を積み上げていく豊かな教育活動を実践しています。外部から特別講師を招き、より高い技術を学ぶ機会（コロナ禍においてはオンラインでの講習も積極的に活用）を提供しています。

また、様々な地域貢献活動の一つに、千葉県警察と連携し反射布を使い、服を製作し、交通安全活動にも貢献しています。私たちは、生徒の多様な取組みをもっと多くの人に知っていただき、今後も学びの機会を確保し、常に改善を求め、生徒の自己実現を支えていきたいと考えています。

特色ある生徒の活動

大和神楽
～世代を超えて受け継ぐ伝統芸能～

千葉県立印旛明誠高等学校　二年　増田　諒

私の住む印西市本埜地区には、大和神楽というものがあります。私は現在、二十人ほどのメンバーで構成されている保存会に所属しています。大和神楽とは、秋の収穫に感謝し、毎年十月十四日に保存会が鳥見神社へ舞を奉納するもので、長い歴史があり県の無形文化財にも指定されています。本番の前には神社の社務所で老若男女問わず、地域の方が集まって練習を行います。

私たちの大和神楽は六演目あり、私は「おのころ島起源」という演目で、ひょっとこの面をかぶり、泥棒の役を演じます。神楽において中学生や高校生などの若者に与えられる役割は大きく、小学生の頃から練習に参加している人もいます。神楽は地域の沢山の方々に熱心に指導して頂きます。伝統文化であるがゆえに、時には厳しい指導を受けることもありますが、その内容は確かに大切なものだと理解できます。

大和神楽には、日本文化の継承だけでなく、地域の人々のつながりを次世代に伝えたり、受け継いだりするというとても大切な役割もあると思います。この伝統文化がなければ、地域の方々と積極的に交流することもなく、その方々の様々な経験を聞くこともできないからです。神楽の練習中には、神楽と直接関係のないことを話す時もありますが、それも他人との付き合い方や大人としての人間関係づくりを学ぶのに役立っています。

大和神楽があるお陰で沢山のことを学び、地域の方々をとても身近に感じます。三世代の人達が一つにつながる大和神楽は、お金には代えられない貴重な経験であり、とても誇らしく感じています。いつか自分の番が来たら、次の世代の人達に伝統と地域のつながりをしっかり引き継ぎたいと考えています。

小さな掛金、大きな補償

スポーツ安全保険®

対象となる事故
団体・グループ活動中の事故／往復中の事故

保険期間
令和3年4月1日午前0時から
令和4年3月31日午後12時まで

補償内容
補償内容は、加入区分によって異なります。
詳しくは、ホームページなどをご覧ください。

4名以上の団体・グループでご加入ください。

例 A1、C、A2区分の場合
傷害保険
死亡保険金：2,000万円
後遺障害保険金：3,000万円（最高額）
入院保険金：4,000円／1日
通院保険金：1,500円／1日（30日限度）
※事故の日からその日を含めて180日以内の死亡、後遺障害、入院、手術、通院が対象となります。
※上記に加え、賠償責任保険、突然死葬祭費用保険も付帯されています。

加入区分・掛金

加入対象者	補償対象となる団体・グループ活動	加入区分	年間掛金（1人当たり）
子ども（中学生以下）※特別支援学校高等部の生徒を含む	スポーツ活動／文化活動／ボランティア活動／地域活動	A1	800円
	上記団体活動に加え、個人活動も対象	AW	1,450円
大人（高校生以上）	スポーツ活動（指導・審判を含む）※右記年齢の判断は、「令和3年4月1日」と「掛金の支払い手続きを行う日」のいずれか遅い日の年齢を基準とします。※A2区分で対象となる活動も補償されます。	C（64歳以下）	1,850円
		B（65歳以上）	1,200円
	文化活動／ボランティア活動／地域活動／準備・片付け・応援・団体員の送迎 ※スポーツ活動中の事故は補償の対象外です。	A2	800円
全年齢	危険度の高いスポーツ（指導・審判を含む）	D	11,000円

年間掛金には、制度運営費（10円）が含まれます。

公益財団法人 スポーツ安全協会 千葉県支部　TEL 043-254-0075
電話受付時間　午前9時30分～午後5時（土、日、祝日及び年末年始を除く。）

保険の詳しい内容、資料の請求は、ホームページをご覧ください。
ご加入はインターネットからのお手続きが便利です。
スポーツ安全保険　検索

この広告はスポーツ安全保険の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら（公財）スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険（株）までお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉
東京海上日動火災保険株式会社
担当課 公務第2部 文教公務室
0120-233-801（平日9:00～17:00）

〈共同引受保険会社（令和3年4月予定）〉
あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動 日新火災 三井住友海上 AIG損保

令和2年12月作成　20-TC06924